

平成 24年度 決算を認定

(桐生市役所)

平成24年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算については、それぞれ賛成多数で認定しました。

同決算の認定にあたっては、市長による平成24年度決算総括、監査委員による監査報告の後、決算特別委員会（委員18人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。

本会議における討論の概要は左記のとおりです。



賛成 討論

依然として原発事故の影響が色濃く残る状況の中、限られた財源を喫緊の課題や将来を見据えた諸施策に重点的に配分し、適切に予算執行した行政運営は評価できる。

主な事業の取組としては、重要伝統的建造物群保存地区に天満宮周辺及び本町一・二丁目を選定され歴史的な町並みやノコギリ屋根などの近代化遺産の魅力を伝える町なか観光の発展に寄与すること、低炭素型低速電動コミュニティーバス「MAYU（まゆ）」が製造され運行できること、中通り大橋線の4車線化が完成し交通渋滞の緩和が図られ地域経済活動の広域化を担う都市整備が進められたことなどは大いに評価できる。

また、東日本大震災における被災地がれきの受入れを他市に先駆けて取り組んだこと、放射性物質の対応においては、公共施設や民家等の除染を実施し、発生した除去土壌等を保管するための仮置場を設置したことは、市民の安全を第一と捉えたことと大変評価するものである。

財政状況では、実質収支比率は8.8%となり、前年度比0.3ポイント改善し、経常収支比率も89.8%となり2.8ポイント改善したこと、また、市税の収納率が前年度比1.3ポイント上昇したことは、職員一丸となって収納対策に取り組んだ成果として重ねて評価するものである。

その一方で、すこやか子育てサポート事業等では、不用額が多く残り今後課題を残す部分もあったが、今後の見直し・検討に期待する。

今後も続く厳しい財政運営の中で市長をはじめ、市民、市職員、議会が知恵と勇気を出し合い、さらなる市政発展となることを要望する。

反対 討論

当初予算の歳出面では、公債費と人件費が削減されたが、市職員の人員と給与削減にも限度があり、「社会保障に充てる」とされている消費税及び地方消費税増税分が、決算においても一部「想定済み」の財源であるのは不安材料である。

総務省の事務次官通知には、「住民の納得と支持が得られるよう、給与制度・運用・水準の適正化を強力に推進すること」とあるが、現在の給与制度は、住民の支持と納得が得られているのか。今後は、住民も含めて公開の場で議論を重ねる必要があるのではないかと。

公務員の本質は、奉仕の心、利他の精神、己を捨て他人のために尽くすことである。現公務員制度の構造的理不尽、これを大きく含む決算に主権者市民の視点で反対する。

一般会計の補正予算

◎平成25年度桐生市一般会計補正予算（第2号）

可決

概要

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ2,521万4,000円を増額補正して、予算総額を429億2,824万1,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 総務費企画費
定住促進事業 45万7,000円の増額
(移住推進首都圏PR用パンフレット印刷製本費等)
- 民生費児童福祉総務費
児童福祉費一般経費 219万4,000円の増額
(子ども・子育て支援ニーズ調査委託料等)
- 商工費観光費
ググッとぐんま観光キャンペーン事業 231万円の増額
(各種イベント委託料)
- 教育費学校管理費
学校改修事業 1,770万4,000円の増額
(相生小学校及び川内小学校プール躯体補修工事費)

◎平成25年度桐生市一般会計補正予算（第3号）

可決

概要

歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ15万8,000円を増額補正して、予算総額を429億2,839万9,000円としたもの。

歳出予算の補正内容

- 議会費事務局費
事務局事業 15万8,000円の増額
(桐生市議会情報番組「KJ」委託料)